

ReStyle

プロバスケットチーム冠試合開催

認知度アップし採用にも効果

買取再販物件の施工を手掛けるReStyle（埼玉県さいたま市）は、同県越谷市をホームタウンにするプロバスケットボールチーム「越谷アルファーズ」のスポンサーを務めている。昨年11月には越谷市立総合体育館で同社のプレゼンツ

ゲームを開催、連日3900人を超える観客が訪れチームは連勝した。

岩本鐘学社長は約5年前に知人がホームゲームの音響システムを担当していたことから同チームと関係を持ちスポンサーに就任した。スポンサーにはいくつかのリンクが



▲プロバスケットチームのスポンサーを務める同社の岩本鐘学社長（右）

あり、同社は名刺に応援の旨を記載し両者の公式サイトで相互リンクする「プライマリロゴ契約」からスタート。チームの成長とともに年間の広告費を上げていった。

「地元密着で地域貢献する成長企業として、採用活動の一環として始めました。人材採用時に選手のことを聞かれるようになってきていますし、効果が実感できるようになりました」と岩本社長は話す。

メインスポンサーは、オフィシャルタイムアウト時に掲げられるプラカードに大きく社名が掲出される。現在、同社はゴール下のサイドビジョン看板やホームゲームユニホームへのロゴ記載、年間シート契約なども行っている。「B1リーグですし、広告宣伝費としては安い方だと思います。最近ではコンプライアンスの関係でお中元やお歳暮は断られることが多いですが、スポーツ観戦なら一緒に行きますよね。そうした面はやっていて良かった効果です。公共性の高い地域スポーツへの応援をアピールすることは本業にもメリットがありますし、今後も地域に関係性の高いチームへのスポンサーを続けていきます」（岩本社長）